

二〇二五年度 大阪公立大学個別学力検査（一般選抜 前期日程）
国語「出題の意図・解答例」

第一問

問一は、本文の趣旨を理解する前提として、筆者の言う「諸々と齟齬が出てくるような世界観」がどのようなものかを理解できているかを問う。ここではスターフライヤーマンの例に即して解答することが求められる。

問二は、前問をふまえ、不完全な世界を落胆の形で受け止めるのではなく肯定的にとらえようとする筆者の考えを具体的に理解できているかを問う。「不完全」だからこそ「わたしと交わることができる」という論理を分析しわかりやすく説明することが求められる。

問三は、本文のここまでの部分で論じられていた、物語の設定に関する論を、他者関係にあてはめた際の筆者の考えを理解できているかを問う。「他者性」の内容を具体的に解釈することが求められる。

問四は、この短歌が本文の最後に置かれていることの意味を理解できているかを問う。本文と切り離れた、短歌だけの解釈をするのではなく、本文全体の趣旨をふまえて解答することが求められる。

(1) は、上の句の「中国」「天国」が何を象徴しているのかを、わかりやすく説明する。
(2) は、下の句の「船に乗」るを比喻ととらえた上で、本文の趣旨に即して丁寧に解釈することが求められる。

第二問

問一（解答例）④ 仰 ⑤ 良風 ⑥ 科

問二（解答例）⑦ 決意を変えること。⑧ 目的の達成に時間がかかること。

問三は、「向背」という漢語の意味を、本文の文脈（アテナイとペルシアとの関係）に即して理解できているかを問う。

問四は、「善悪」という概念と「正邪」という概念を区別する必要性について、本文で、戦争が悪・不幸であると述べられていることと、自由のために戦うことが正義であると述べられていることに基づいて答えさせる問題。

問五は、時や場所によって価値判断が異なるとしても、人間はある立場のもとで自己の正義を主張し、一定の秩序のもとに行動するものであるということが理解できているかを問う。

問六は、戦争は、相互に自己の正義を主張し合うもので、その主張が相容れないものであれば、一方が武力で勝つしか戦争の終結はない、という論理が理解できているかを問う問題。傍線部の前の二段落に論じられているが、傍線部の後の「戦争に介入できる立場」「戦争の正義に代わる法秩序」について述べられていることも参考になる。

第三問 (A)

問一は、基本的な語彙・語法の理解を確認するための設問。

問二は、本文冒頭部の文脈を理解した上で、わかりやすく説明することを求めている。

問三は、「こそ…已然形」の逆接用法が訳出できるかどうかを問う。

問四は、直前の常葉の発言の趣旨をわかりやすくまとめることを求めている。

問五は、女主人が常葉に一夜の宿を提供したことが万一平家方に漏れた場合、出来しうる事態を念頭に置いての発言であることを押さえた上で、人物関係を特定させる設問。

問六は、前後の文脈から、この家での宿泊が話題であることを理解できているかを問う。

問七は、この世だけではない前世からの宿縁という当時の人々の発想を理解できているかを問う。

問八は、女主人の常葉に対する一連の言動のどういう部分を、常葉が尋常とは思われないと感じたのか推測させる問い。後文の「清水観音の御憐れみ」を思わせるような女主人の対応ぶりをわかりやすく説明することを求めている。

第三問 (B)

問一は、「尚未……尽」という句法を理解し、傍線部の前の文脈が押さえられているかを問う。

問二 (解答例) 安くんぞ能く皆是ならん。

※反語を意味する「安」の正確な理解を問う。

問三は、傍線部の前の文脈を正確に理解できているかを問う。

問四は、本文全体の意味が把握できているかを問う。